

多機能オートサンプリングシステム
Multifunctional Autosampler System

AOC-6000 Plus



Multifunctional Autosampler System

AOC-6000 Plus

GC-MS分析の生産性を飛躍させる 多機能オートサンブラシステム

1台で複数の試料導入に対応

液体試料注入法、ヘッドスペース注入法、固相マイクロ抽出 (SPME) 注入法など、1台でGC-MSへの様々な試料導入が可能です。さらに、自動ツール交換機能を利用することで、パークステーションに設置された各試料導入法ごとのシリンジツールを自動で交換できます。

データへの信頼性の追求

シリンジ及びファイバーの使用履歴の管理機能を有しており、採取したデータへの信頼性が向上します。

さらに、これまで手動で行っていた試料調整の自動化により、作業者の負担を軽減し、分析精度の向上を実現します。

最新の濃縮テクノロジーによる高感度分析

従来のSPMEに比べ感度と耐久性が向上したSPME Arrow、従来のHSに比べ高感度に分析可能なITEX DHSによる最新の濃縮テクノロジーを用いた分析が可能です。

幅広いサンプル形態に対応

多機能注入口OPTIC-4の多彩な注入モードと組み合わせることで、固体サンプルの熱分解分析やガス成分の加熱脱着分析など、多様なサンプル形態の分析に対応します。

ソフトウェアからのシンプルな操作

GC-MS用ソフトウェアGCMSsolution™/LabSolutions™から制御できます。AOC-6000 PlusとGC-MSの分析条件は測定されたデータに記憶されるため、分析の精度管理が容易に行えます。また、連続分析の効率を高めるオーバーラップ機能も利用できます。



AOC-6000 Plus
AUTO SAMPLER

1台で複数の試料導入が可能

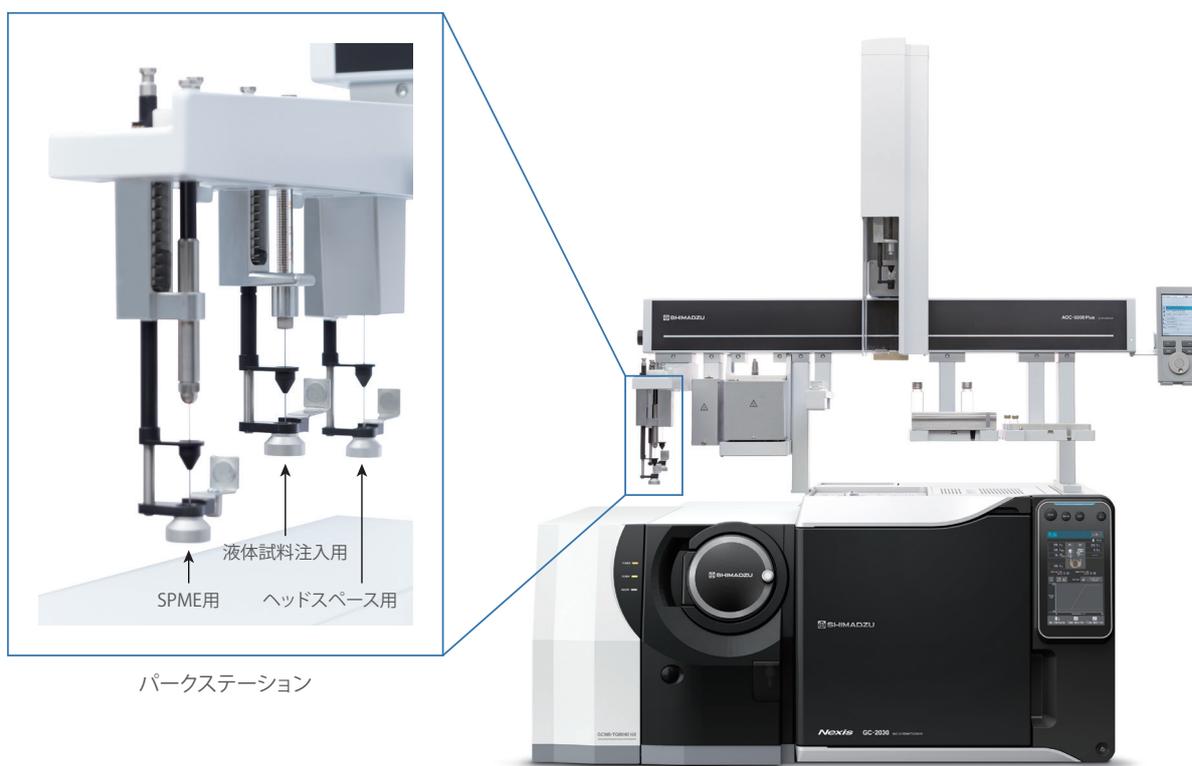
GC-MSへの複数の試料導入法に対応

AOC-6000 Plusは、液体試料注入法、ヘッドスペース注入法、固相マイクロ抽出 (SPME) 注入法など、複数の試料導入法に対応しています。試料形状、分析対象の成分に応じて試料導入法を選択できます。



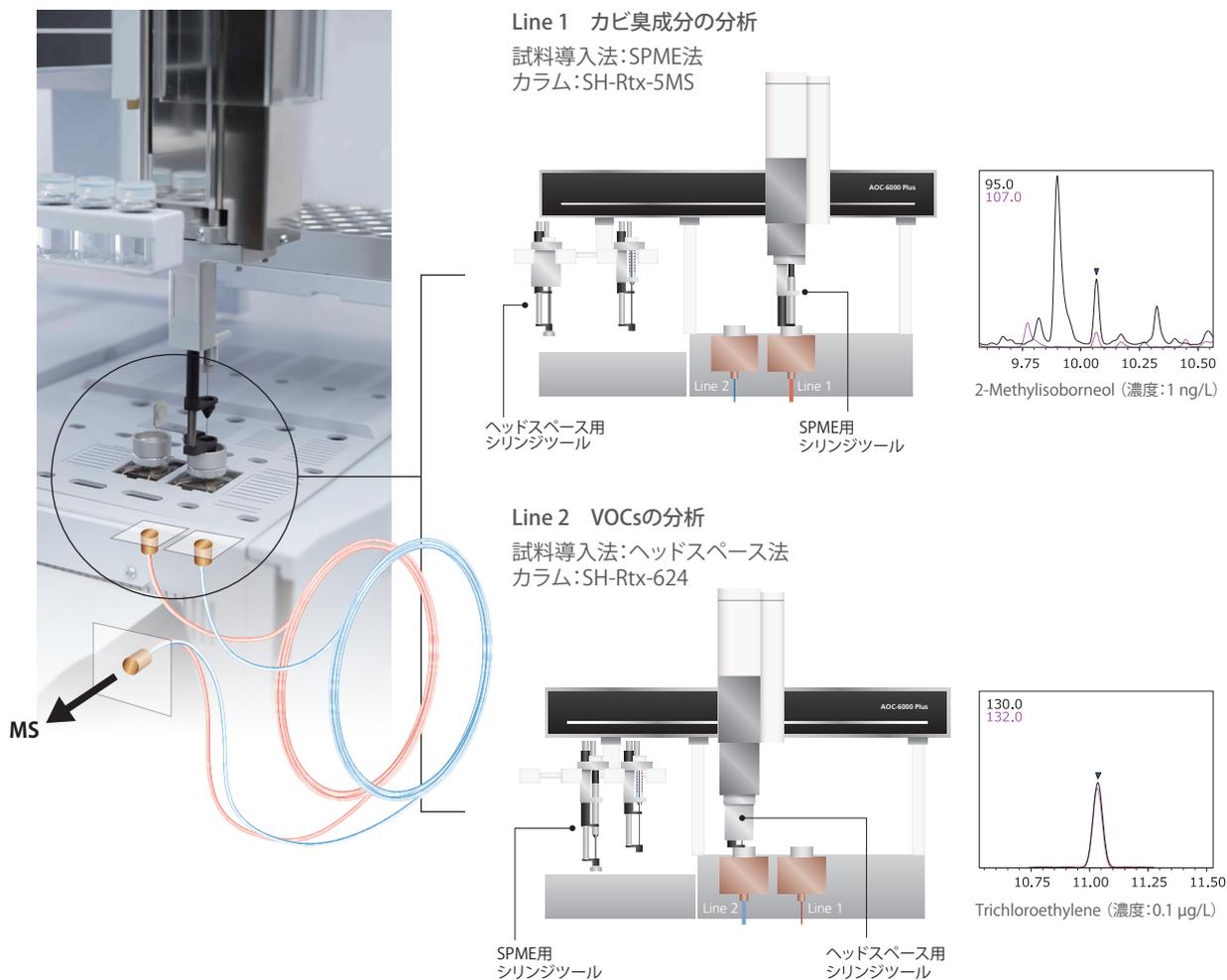
試料導入法の自動切換

AOC-6000 Plusは、パークステーションに設置された各試料導入法ごとのシリンジツールを自動交換できます。



連続分析中に試料導入法とカラムを自動切換 — Twin Line MSシステム —

AOC-6000 Plusは、Twin Line MSシステム※1とあわせて使用することで、異なる試料導入法を自動で切り換えながら連続して分析できます。



Twin Line MSシステムは、2つの注入口それぞれにカラムが接続されているため、インジェクションする注入口を分析メソッドで指定するだけで、カビ臭成分とVOCs成分のように異なるカラムが必要な分析であっても、MSの真空を停止することなく連続して分析することができます。また、煩わしいカラム交換作業が不要となり、ダウンタイムを大幅に削減します。



※1 Twin Line MSシステム: 2本の異なるカラムの出口側をMSに同時に取り付けすることで、MSの真空を停止することなく異なるカラムでのアプリケーションデータ採取が可能です。

データへの信頼性の追求

シリンジ・ファイバーの使用履歴管理による信頼性向上

AOC-6000 Plusは、シリンジ及びファイバーの使用履歴の管理機能を有しています。専用のSmartシリンジ、Smart SPMEファイバー、Smart SPME ArrowのSmartチップを読み取り、シリンジタイプやファイバーの耐熱温度など固有情報の他、使用期間やストローク回数などの使用履歴を確認することができます*2。煩雑な消耗品管理を自動化し、シリンジやファイバーの状態を正確に把握しながら使用することで、採取したデータの信頼性を向上させることができます。

シリンジのステータス情報

SmartSyringe	
SF10-57-M-23S-CO	
10 µL NL:57 mm PS:Conical Sc:54 m	
No user description	
Syringe Status	Ok
Strokes Count	7141
Max. Strokes Cou	10000
Remaining Stroke	2859
Strokes Above Ma	0
First Usage	2/27/2019
Last Usage	3/14/2019

使用履歴

使用回数情報

AOC-6000 Plusに対応したSmartシリンジ、Smart SPMEファイバー、Smart SPME Arrowは、あらゆる分析に対応できる幅広いラインナップをご用意しています。



Smartシリンジはプランジャーの色で容量を一目で判別することが可能です。



Smart SPMEファイバーおよびSmart SPME Arrowは、各種液相をラインナップしており、分析対象やアプリケーションに応じて最適なものを選択することができます。また、プランジャーの色で液相の種類を一目で判別することが可能です。



*2 AOC-6000 Plusは、Smartシリンジ、Smart SPMEファイバー、Smart SPME Arrowにのみ対応しております。Smartチップのついていないシリンジ、ファイバー類は使用できません。

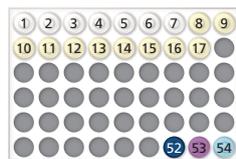
前処理の自動化によるデータの信頼性向上

AOC-6000 Plusは、シリンジ自動交換機能とバイアル攪拌機能によって、標準試料の希釈系列の作成や内部標準物質の添加を自動化できます。煩雑な試料調整を自動化することで、作業者の負担を軽減し、信頼性の高い定量が可能になります。



空バイアル、標準試料、内部標準物質、プロテクタント、検査試料をサンプルラックにセットし、バッチテーブルを開始するだけで、検査資料の定量を自動で行えます。

空バイアル、検査試料、標準試料、内部標準物質、プロテクタントをセット



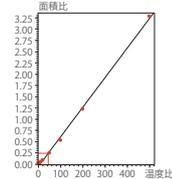
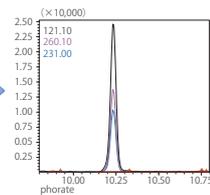
- 空バイアル
- 検査試料
- 標準試料
- 内部標準物質
- プロテクタント

バッチテーブルを作成

バイアル番号	サンプル名	サンプルサイズ	レベル番号	ポイントファイル
1		0未知	1	標準試料の自動希釈.oem
1	標準試料 1ppb (内部標準物質、プロテクタント添加)	1標準	1	内部標準物質の自動添加.oem
2	標準試料 5ppb (内部標準物質、プロテクタント添加)	1標準	2	液体注入.oem
3	標準試料 10ppb (内部標準物質、プロテクタント添加)	1標準	3	液体注入.oem
4	標準試料 20ppb (内部標準物質、プロテクタント添加)	1標準	4	液体注入.oem
5	標準試料 50ppb (内部標準物質、プロテクタント添加)	1標準	5	液体注入.oem
6	標準試料 100ppb (内部標準物質、プロテクタント添加)	1標準	6	液体注入.oem
7	標準試料 500ppb (内部標準物質、プロテクタント添加)	1標準	7	液体注入.oem
8	検査試料 001	0未知	1	液体注入.oem
9	検査試料 002	0未知	1	液体注入.oem
10	検査試料 003	0未知	1	液体注入.oem
11	検査試料 004	0未知	1	液体注入.oem
12	検査試料 005	0未知	1	液体注入.oem
13	検査試料 006	0未知	1	液体注入.oem
14	検査試料 007	0未知	1	液体注入.oem
15	検査試料 008	0未知	1	液体注入.oem
16	検査試料 009	0未知	1	液体注入.oem
17	検査試料 010	0未知	1	液体注入.oem

- (A) 空バイアル 1～7番に、内部標準物質とプロテクタントを添加した希釈標準試料系列 (1ppb、5ppb、10ppb、20ppb、50ppb、100ppb、500ppb) を作製します。
- (B) 検査試料 (バイアル 8～17番) に内部標準物質を添加します。
- (C) 希釈標準試料系列 (バイアル1～7番) を分析します。自動解析機能により、標準物質の自動ピーク検出および検量線の自動作成が行われます。
- (D) 検査試料 (バイアル8～17番) を分析します。自動解析機能により、定量化合物の自動探索および検量線を使った定量が自動で行われます。

分析が完了したら、定量結果を確認します。



最新の濃縮テクノロジーによる高感度分析

SPME Arrow

SPME Arrowは、従来のSPMEに比べ、高感度・高耐久性・高速抽出が可能な次世代のSPMEです*3。

● SPME Arrowは、従来のSPMEに比べ、大容量の吸着剤が保持されており、高感度分析が可能です。また、太く頑丈な構造のため、高い耐久性を誇ります。

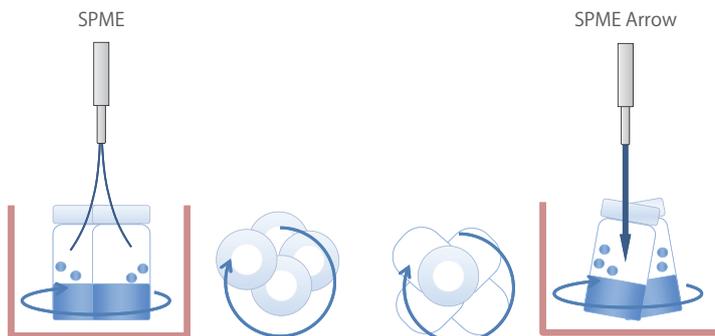
SPME Arrow



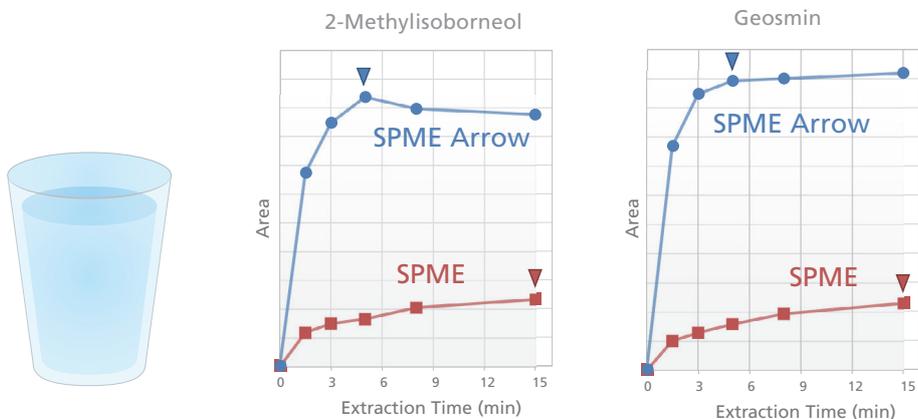
従来のSPME



● SPME Arrowは、抽出時に攪拌効率の高い専用の攪拌機(ヒーテックス・スターラ)を用いることで、前処理の高速化が可能です。



水中のカビ臭気物質の分析において、SPME Arrowは従来のSPMEに比べて約5倍高感度に分析できます。また、平衡に達するまでの抽出時間は5分であり、従来のSPMEの15分から1/3に短縮できます。



SPME ArrowとSPMEの抽出時間とピーク面積値の比較

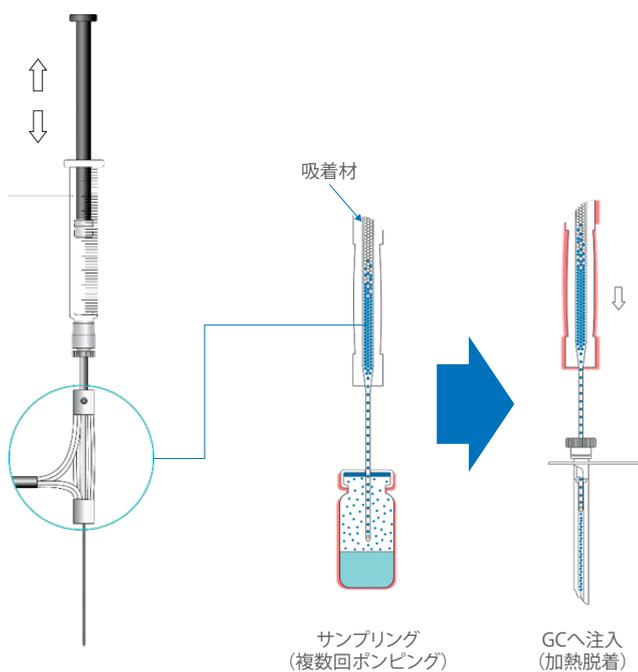
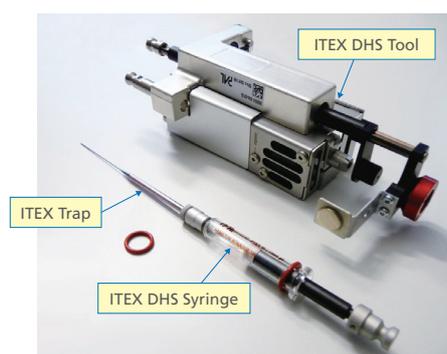
*3 SPME Arrowは外径が太く、通常のGC注入口では使用できません。穴径の広いSPME Arrow用のGC注入口で使用してください。

ITEX DHS

ITEX DHS (In-tube Extraction Dynamic Headspace) は、シリンジ内の吸着材にバイアルのヘッドスペース成分を濃縮することが可能です。揮発成分を濃縮するため、通常のHS法と比べて、高感度に分析することが可能です。

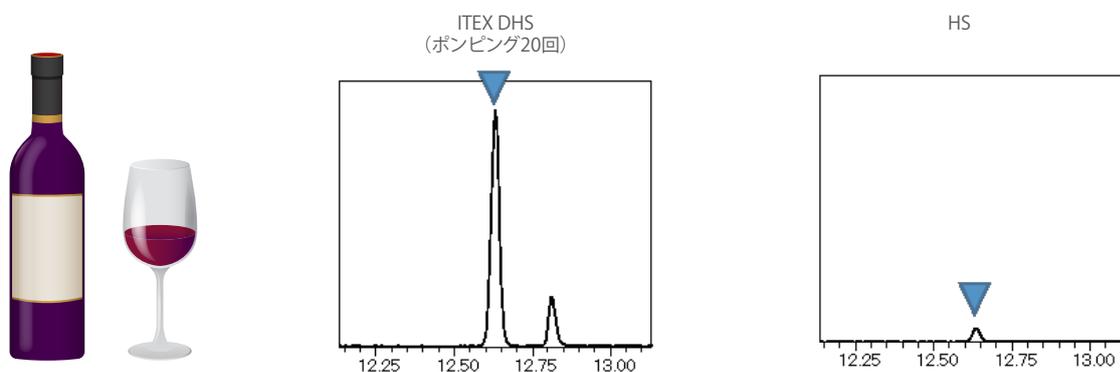


- ITEX DHSは、加温したバイアルのヘッドスペース部をシリンジで複数回ポンピングすることで、揮発成分を吸着剤に濃縮させます。その後、GC注入口での加熱脱着により、揮発成分を分析します。



- シリンジを用いた濃縮法であるため、汚染の心配もなく、メンテナンスも容易です。

ワイン中の揮発性有機化合物の分析において、オクタン酸エチルを通常のHSと比べて、10倍以上高感度に検出できました。さらにポンピングの回数を増やすことで、感度を上げることができます。



ワイン中のオクタン酸エチルのTICの比較

幅広いサンプル形態に対応

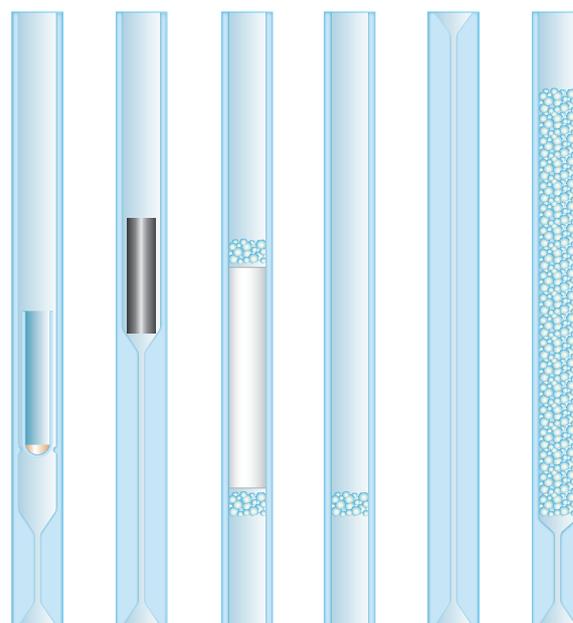
多機能注入口OPTIC-4の多彩な注入モードにより、スプリット/スプリットレス注入の他、固体サンプルの熱分解分析や臭気成分の加熱脱着分析など、様々なサンプル形態の分析に対応します。

前処理を簡便化するDMI (Difficult Matrix Introduction)

DMIは、サンプルを入れたマイクロバイアルをライナー内にセットし、注入口でライナーを加熱してサンプルを分析する手法です。注入口温度を調整することにより不揮発成分のきょう雑物をマイクロバイアルに残すことができるため、簡便な前処理でのGC-MS測定が可能です。

MonoTrap[®] による捕集・濃縮後、 加熱脱着により高感度分析

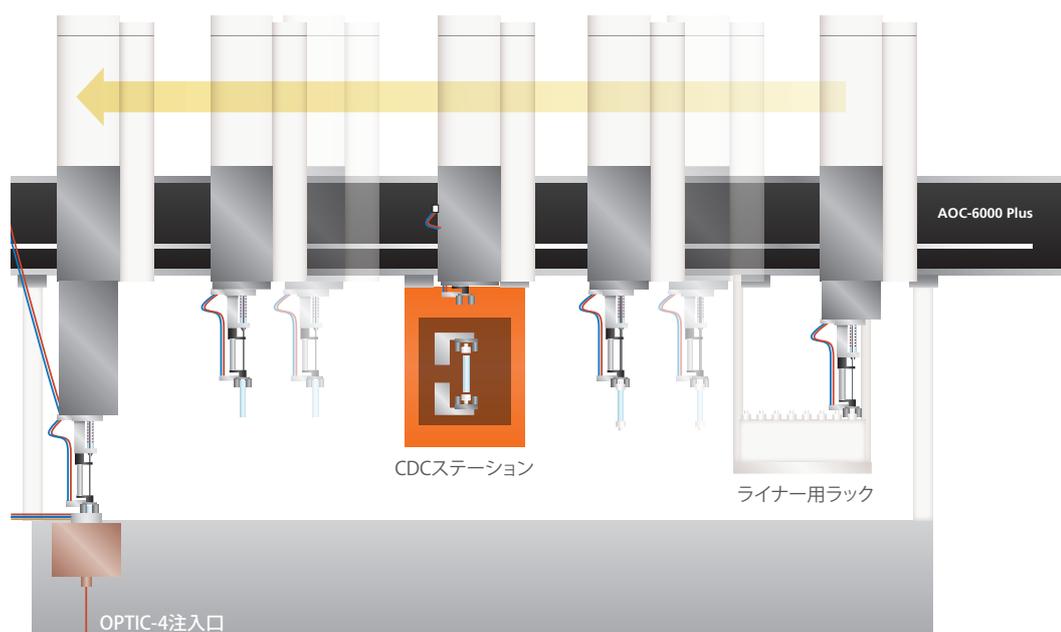
シリカモノリス構造を持ち、高い捕集効率を有するMonoTrap[®]3を用いて試料の揮発性化合物を捕集し、OPTIC-4により熱脱着すると、溶媒溶出法に比べて高感度で分析できます。また、高速昇温機能により捕集した成分を迅速に脱着でき、シャープなピークが得られます。



DMI MonoTrap TD TD SPL Splitless LVI

各種ライナー

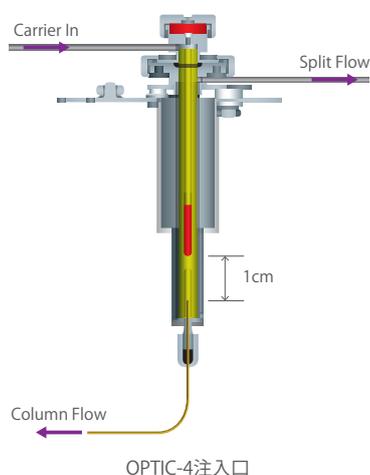
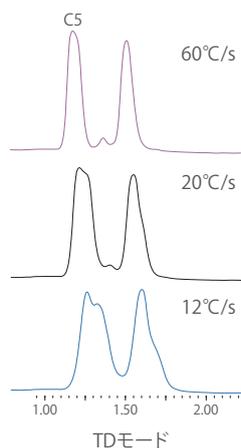
ラックにセットされたライナーは、CDCステーションでキャップを取り外された後、OPTIC-4注入口にセットされます。



※3 MonoTrapの詳細な情報はジューエルサイエンス株式会社のホームページをご覧ください。

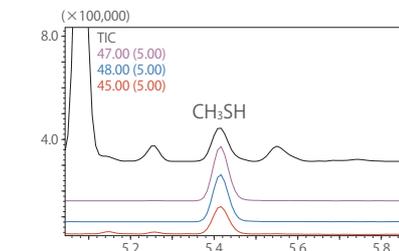
シャープなピークで高分離を実現

わずか1cmのサンプル導入パスと最高昇温速度60°C/秒の直接加熱方式の採用により、シャープなピークが実現できます。

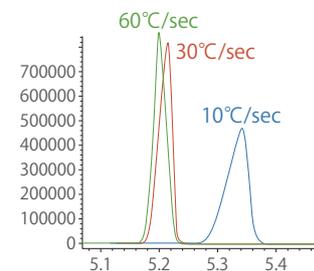


クライオトラップ（オプション）をGCオープンに取り付け、ピークをシャープにすることもできます。クライオにトラップしたサンプルを最高昇温速度60°C/秒で加熱でき、バンドの広がりを最小限に抑えます。

サンプルと分析カラム先端はわずか1cmです。そのため吸着性や分解性の化合物の分析に最適です。



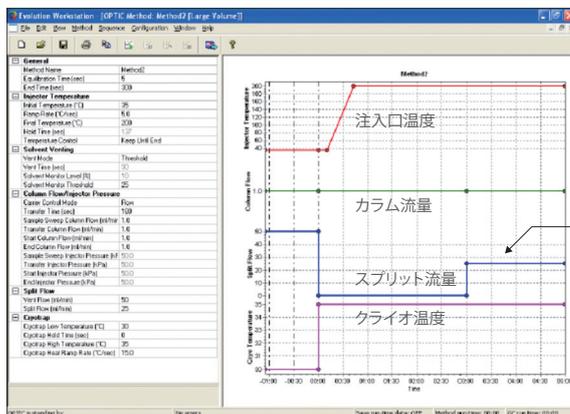
MonoTrapによるパルミザンチーズ中のMethanethiolの分析



専用ソフトウェア Evolution Workstationで直感操作

OPTIC-4の専用ソフトウェアEvolution Workstationは、タイムチャート表示により分析条件を直感的に把握・変更することができ、条件検出も簡単です。注入モードに応じたメソッドが付属されるため、最適化も容易です。

詳細なパラメータを設定・変更することもできます。



大量注入用メソッド

多彩な注入モード

サンプル形態に適した注入モードにより、多様な形態のサンプルを分析できます。

ライナー	サンプル導入法	アプリケーション例	ページ
DMI	熱抽出	シャンパー中の1,4-ジオキサン	12
MonoTrap TD	加熱脱着	製品からの異臭	
DMI	熱分解	樹脂の熱分解	13
固体吸着剤 (TD)	加熱脱着	自動車内の雰囲気ガス	

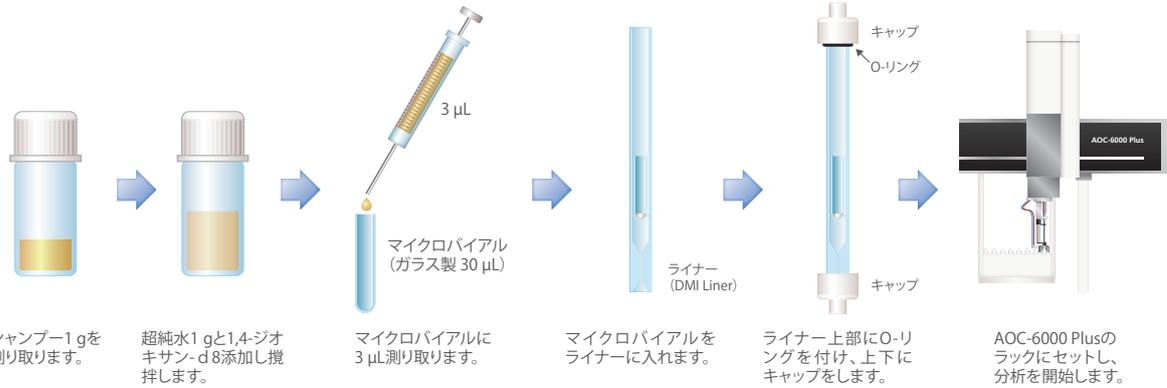
DMI

熱抽出

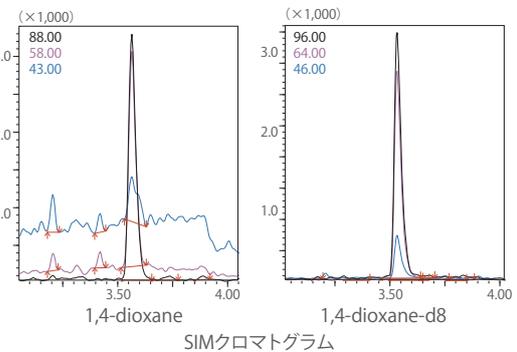
シャンプー中の1,4-ジオキサン

発ガン性が疑われる1,4-ジオキサンは、化粧品に不純物として含まれることがあります。DMIモードを用いて、シャンプー中の1,4-ジオキサンの定量について検討しました。ピークをシャープにするためにクライオトラップを用いました。

注入口の温度を最適化することによって、シャンプーに含まれるカラムの汚染の原因となる高沸点の夾雑物をカラムに導入することなく、簡便な前処理で1,4-ジオキサンを定量できました。このモードは熱抽出を利用し、前処理を簡便化するのに有効です。



シャンプーに1,4-ジオキサンを濃度が3.6 ppmになるように添加して得られたSIMクロマトグラムを左図に示します。右図に示した1,4-dioxane-d8のSIMクロマトグラムをもとに定量した結果は3.6 ppmでした。



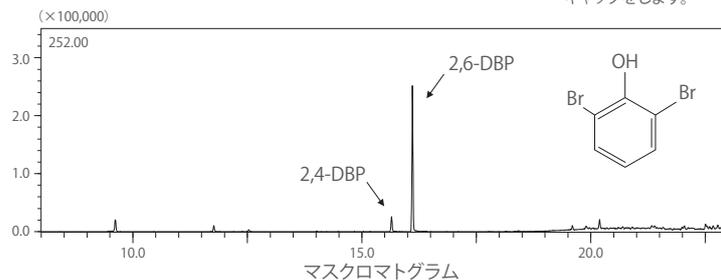
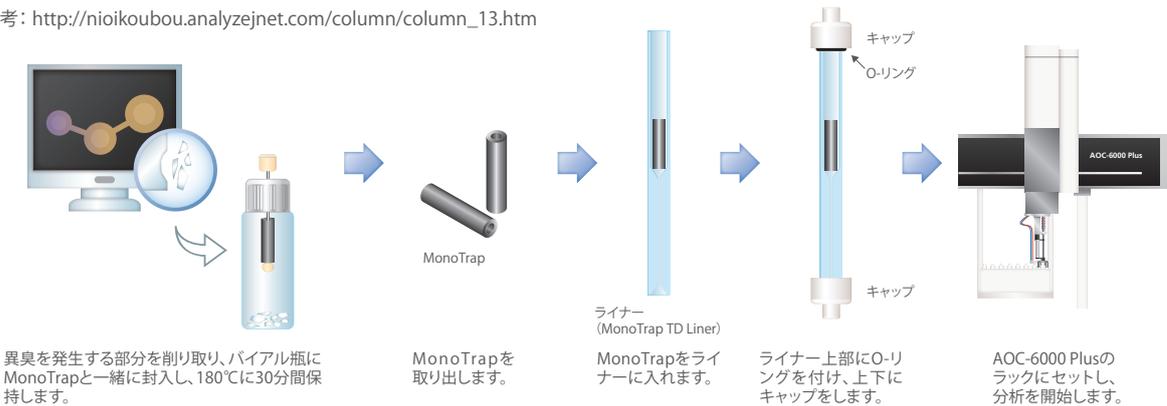
MonoTrap

加熱脱着

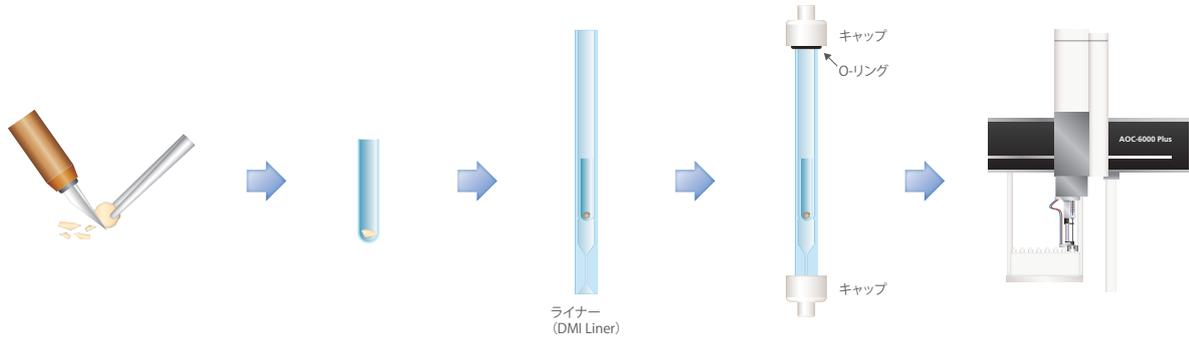
製品からの異臭

異臭の問題を解決するためには、原因物質の特定が必要です。MonoTrap-加熱脱着モードを用いて、電化製品の樹脂製部分からの消毒臭の原因物質を特定しました。異臭を放つ筐体から部材を削り取り、MonoTrapと一緒にバイアル瓶に入れ、異臭成分を抽出・濃縮しました。異臭原因物質として臭気閾値が低い2,6-ジブロモフェノール(2,6-DBP)を検出することができました。このモードを用いると、臭気閾値の低い成分でも簡便に濃縮し、検出することができます。

参考: http://nioikoubou.analyzejnet.com/column/column_13.htm



熱分解ガスクロマトグラフィーは、樹脂の構造解析に有効です。熱分解では熱分解生成物が二次反応しないように、試料を急速加熱する必要があります。本システムは600℃まで60℃/sで急速加熱できるため、瞬間加熱による熱分解装置に相当するデータを得ることができます。このモードを用いて、ポリカーボネート樹脂を分析しました。ビスフェノールAなど多数のフェノール系の化合物が検出され、瞬間加熱による熱分解装置と同等の結果でした。



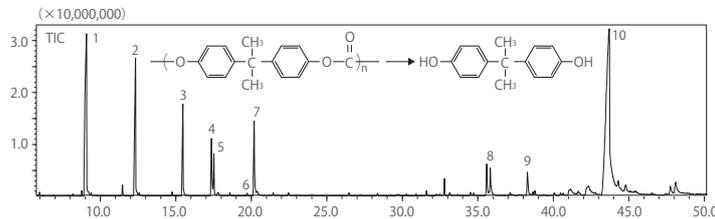
カッターや、やすりで試料を切り取ります。

ひとかけら(数10 µg以下)の試料をマイクロバイアルに入れます。

マイクロバイアルをライナーに入れます。

ライナー上部にOリングを付け、上下にキャップをします。

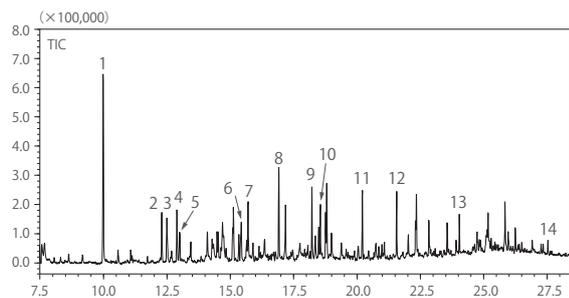
AOC-6000 Plusのラックにセットし、分析を開始します。



熱分解トータルイオンクロマトグラム

- 1=phenol
- 2=p-cresol
- 3=p-ethylphenol
- 4=p-vinylphenol
- 5=p-isopropylphenol
- 6=p-tert-butylphenol
- 7=p-isopropenylphenol
- 8=p-hydroxy-2,2-diphenylpropane
- 9=p-hydroxy-3-methyl-2,2-diphenylpropane
- 10=bisphenol A

自動車室内の環境に配慮するため、車中揮発性有機化合物 (VOCs) の低減への取り組みがなされています。固体吸着ー加熱脱着モードにより車中VOCsを分析しました。車中の空気を捕集剤が充填されたライナーに通気しました。その後、本システムを用いてライナーを加熱し、脱着した成分を分析しました。低沸点成分も対象とするため、クラオトラップを用いました。トルエン、エチルベンゼン、キシレンなどが検出され、直射日光によって加熱された樹脂から気化したフタル酸ジブチルも検出されました。このモードは、ガス中の微量成分を分析するのに有効です。



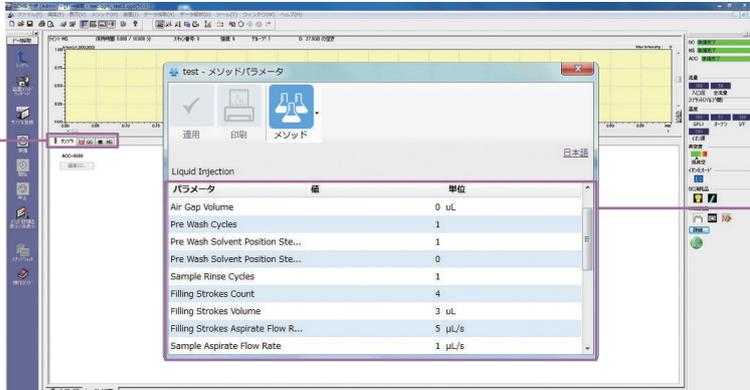
トータルイオンクロマトグラム

- 1=Toluene
- 2=Ethylbenzene
- 3=m-,p-Xylene
- 4=Styrene
- 5=o-Xylene
- 6=p-Dichlorobenzene
- 7=2-Ethyl-1-hexanol
- 8=Nonanal
- 9=Menthol
- 10=Decanal
- 11=Tridecane (C13)
- 12=Tetradecane (C14)
- 13=Hexadecane (C16)
- 14=Di-n-butyl phthalate (DBP)

ソフトウェアからのシンプルな操作

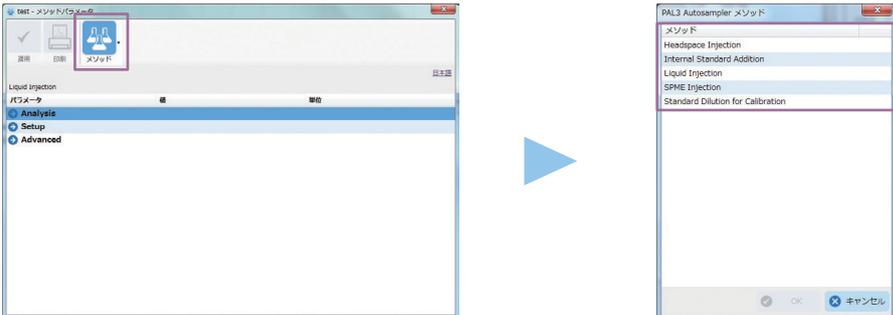
AOC-6000 Plusは、GC-MS用ソフトウェアGCMSsolutionおよびLabSolutionsから条件設定や制御を行えます。AOC-6000 PlusとGC-MSの分析条件は測定されたデータに記憶されるため分析の精度管理が容易に行えます。

GC-MSと同じソフトウェアで制御できるため、メソッドの選択や分析条件の設定が容易です。



測定データファイルにAOC-6000 Plusの分析条件が記憶されます。

AOC-6000 Plusのメソッドファイルは一般的な分析条件があらかじめ設定されています。分析に応じて変更する必要がある“注入量”などのパラメータは容易に変更できます。



一般的な分析条件が設定されているので、すぐに分析ができます。

分析効率を高めるオーバーラップ機能

AOC-6000 Plusは、検査試料の前処理と分析を並行して行えます。HS法など前処理に時間のかかる試料を連続分析する際に、時間のロスがありません。

オーバーラップ機能を利用したヘッドスペース法の連続分析

AOC-6000 Plusのメソッドファイルには前処理と分析をオーバーラップする条件があらかじめ設定されているため、複数試料を分析する際の分析時間を大幅に短縮できます。

■ 連続分析のフロー

オーバーラップ機能あり



オーバーラップ機能なし



ラインアップ

AOC-6000 Plusは、下記のモデルをご用意しています。お客様の分析に応じてモデルを選択していただけます。

モデル	メイン機能				オプション機能			
	液打ち注入	HS注入	SPME注入	自動ツール交換	試薬攪拌	SPME Arrow 注入	ITEX DHS 注入	OPTIC-4 ライナー交換
エントリーモデル	○	○	○					
スタンダードモデル	○	○	○	○			○	
スタンダードモデル (ロングレールタイプ)	○	○	○	○		○	○	○
ハイエンドモデル	○	○	○	○	○	○	○	○

仕様

本体部寸法	エントリーモデル スタンダードモデル	850(L)×503(D)×547(H) mm	
	スタンダードモデル (ロングレールタイプ) ハイエンドモデル	1206(L)×503(D)×547(H)mm	
液体試料注入機能	バイアル搭載数	トレイ1個につき2mL/バイアル162個(54個×3) トレイ1個につき10/20mL/バイアル45個(15個×3) (オプションで60個まで可能)	
	液体注入量	1~10μL(標準の10μLシリンジ使用時)	
	シリンジ種類	1、5、10、25、50、100、250、500、1000μL	
	繰り返しインジェクション 対応シリンジ	1~99回/バイアル瓶1個につき Smartチップ付き液体注入用Smartシリンジ	
	サンプル搭載数	トレイ1個につき10/20mL/バイアル45個(15個×3) (オプションで60個まで可能)	
ヘッドスペース注入機能	ヘッドスペース注入量	250~2500μL(標準2.5mLシリンジ使用時)	
	シリンジの温度	~150℃	
	アジテータ	加熱/バイアル瓶6個(2/10/20mL/バイアル瓶使用時) 温度設定 ~200℃	
	対応シリンジ	Smartチップ付きヘッドスペース用Smartシリンジ	
	サンプル搭載数	トレイ1個につき10/20mL/バイアル45個(15個×3) (オプションで60個まで可能)	
SPME注入機能	ファイバーコンディショニング温度	~350℃	
	アジテータ	加熱/バイアル瓶6個(2/10/20mL/バイアル瓶使用時) 温度設定 ~200℃	
	対応SPMEファイバー	Smartチップ付きSmart SPMEファイバー	
	サンプル搭載数	トレイ1個につき10/20mL/バイアル45個(15個×3) (オプションで60個まで可能)	
	ファイバーコンディショニング温度	~350℃	
SPME Arrow注入機能	アジテータ	加熱/バイアル瓶6個(2/10/20mL/バイアル瓶使用時) 温度設定 ~200℃	
	ヒーテックス・スターラー	攪拌/バイアル瓶1個(2/10/20mL/バイアル瓶使用時) 最大1600回転/分	
	対応SPME Arrow GC注入口	Smartチップ付きSmart SPME Arrow SPME Arrow専用注入口	
	サンプル搭載数	トレイ1個につき10/20mL/バイアル45個(15個×3) (オプションで60個まで可能)	
	シリンジの温度 トラップの温度	~150℃ ~350℃	
ITEX DHS注入法	アジテータ	加熱/バイアル瓶6個(2/10/20mL/バイアル瓶使用時) 温度設定 ~200℃	
	対応シリンジ	Smartチップ付きITEX用シリンジ	
	自動ツール交換機能	搭載数 デフォルト3つ、最大6つ	
	試薬攪拌機能	最大回転数	最大2000回転/分
		対応バイアル	2mL、10mL、20mL
OPTIC-4ライナー交換機能	ライナー(キャップ無)搭載数	トレイ1個につき162本(54本×3)	
	ライナー(キャップ有)搭載数	トレイ1個につき120本(40本×3)	
	液体注入用シリンジ	最大100μL容量シリンジまで搭載可能	

対応機種

GC-MS

機種	ソフトウェア
GCMS-TQ8040 NX/8050 NX GCMS-QP2020 NX	GCMSsolution Ver. 4.50以降 + GCMSsolution用AOC-6000制御ソフトウェア もしくは LabSolutions DB GCMS Ver.6.116以降 LabSolutions CS Ver.6.115以降 + LabSolutions用AOC-6000サポートキット
GCMS-TQ8030/8040/8050 GCMS-QP2020 GCMS-QP2010シリーズ	GCMSsolution Ver. 4.30以降 + GCMSsolution用AOC-6000制御ソフトウェア もしくは LabSolutions DB GCMS Ver.6.116以降 LabSolutions CS Ver.6.115以降 + LabSolutions用AOC-6000サポートキット

注)GC-MSでソフトウェアにLabSolutions DB/CSを使用するときは、OPTIC-4ライナー交換機能には対応していません。

GC

機種	ソフトウェア
Nexis™ GC-2030 GC-2010 Plus GC-2010	LabSolutions LC/GC Ver.5.87以降 LabSolutions DB/CS Ver.6.71以降 + LabSolutions用AOC-6000サポートキット

注) GCはSPME Arrow注入機能、ITEX DHS注入機能、OPTIC-4ライナー交換機能には対応していません。

GCMSsolution、LabSolutions、GCMS-TQ、GCMS-QP、CoreFocus、およびNexisは、株式会社島津製作所またはその関係会社の日本およびその他の国における商標です。MonoTrapは、ジーエルサイエンス株式会社の登録商標です。

本書に記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。本製品は、医薬品医療機器法に基づく医療機器として承認・認証等を受けておりません。治療診断目的およびその手続き上での使用はできません。トラブル解消のため補修用部品・消耗品は純正部品をご採用ください。外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 島津製作所

分析計測事業部 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1

東京支社	101-8448	東京都千代田区神田錦町1丁目3	(03) 3219-(官公庁担当)5631・(大学担当)5616・(会社担当)5622
関西支社	530-0012	大阪市北区芝田1丁目1-4 阪急ターミナルビル14階	(06) 6373-(官公庁・大学担当)6541・(会社担当)6556
札幌支店	060-0807	札幌市北区北七条西2丁目8-1 札幌北ビル9階	(011) 700-6605
東北支店	980-0021	仙台市青葉区中央2丁目9-27 プライムスクエア広瀬通12階	(022) 221-6231
郡山営業所	963-8877	郡山市堂前町6-7 郡山フコク生命ビル2階	(024) 939-3790
つくば支店	305-0031	つくば市吾妻3丁目17-1	(029) 851-(官公庁・大学担当)8511・(会社担当)8515
北関東支店	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町1-41 明治安田生命大宮吉敷町ビル8階	(048) 646-(官公庁・大学担当)0095・(会社担当)0081
横浜支店	220-0004	横浜市西区北幸2丁目8-29 東武横浜第3ビル7階	(045) 311-(官公庁・大学担当)4106・(会社担当)4615
静岡支店	422-8062	静岡市駿河区稲川12丁目1-1 伊伝静岡駅南ビル2階	(054) 285-0124
名古屋支店	450-0001	名古屋市中村区那古野1丁目47-1 名古屋国際センタービル19階	(052) 565-(官公庁・大学担当)7521・(会社担当)7531
京都支店	604-8445	京都市中京区西ノ京徳大寺町1	(075) 823-(官公庁・大学担当)1604・(会社担当)1603
神戸支店	650-0033	神戸市中央区江戸町9-3 栄光ビル9階	(078) 331-9665
岡山営業所	700-0826	岡山市北区磨屋町3-10 岡山ニューシティビル6階	(086) 221-2511
四国支店	760-0017	高松市番町1丁目6-1 高松NKビル9階	(087) 823-6623
広島支店	732-0057	広島市東区二葉の里3丁目5-7 GRANODE広島5階	(082) 236-9652
九州支店	812-0039	福岡市博多区冷泉町4-20 島津博多ビル4階	(092) 283-(官公庁・大学担当)3332・(会社担当)3334

島津コールセンター (操作・分析に関する電話相談窓口) ☎ 0120-131691
IP電話等: (075) 813-1691

<https://www.an.shimadzu.co.jp/>